

町民に深く根付く 和の精神

今から1400年ほど前。飛鳥時代の政治家であつた聖徳太子は、十七条憲法を制定しました。その第一条にあるのが「和を以て貴しと為す」の言葉です。

王寺町は、達磨寺の飢人伝説や雪丸など、聖徳太子とのゆかりが深く、私たち町民にも和を大切にする思いが受け継がれています。「和の鐘」は、毎日そんなことを音で知らせてくれています。

音で届けられた「和の鐘」

「和の鐘」が誕生したのは、昭和38(1963)年。町では、青少年指導委員会が主体となり、町内に鐘の音を鳴り響かせることで、すべての人が平穏に過ごし、こどもたちが健全に成長することを願う「愛の鐘 設置運動」が起きました。

「和の鐘」誕生当初は、現在のように形としては存在しておらず、旧王寺中学校の校舎に取り付けられたスピーカーから鐘の音色が鳴り響いていました。設置費用は町民の皆さんからの寄付金で充てられました。

また、これからのまちづくりは「和の鐘」に込められた「和」の心を何よりも大切にしていくという思いから、平成元年(1989)にふるさと創生事業として、現在の「和の鐘」を建設しました。



和の鐘のスイッチを押す当時の王寺町長・吉村信治さん

町制50周年記念で誕生 王寺町町歌

かすむ大和路山波の
平野に帯なす大和川
きれいな町になりわたる
やわらぎの鐘われらの王寺
われらふるさと緑なす
喜びあふれ夢多き
しあわせの町になりわたる
やわらぎの鐘われらの王寺
いにしえしのぶ片岡の
歴史を語る達磨寺
住みよい町になりわたる
やわらぎの鐘われらの王寺
あすを礎こうわになって
清く明るくはげみつ
豊かな町になりわたる
やわらぎの鐘われらの王寺

世界初!?!
ドローンに変身



みんなの人気者! 雪丸

聖徳太子の愛犬として、江戸時代から達磨寺にまつられていた雪丸。1400年の時を経て、まちのマスコットキャラクターとして現代に生まれ、まちのみなさんに愛されています。平成25(2013)年に、町観光・広報大使に就任して以来、いろんなイベントにひっぱりだこ!

あっちへこっちへ

王寺をおさんぽ

